



## ＜農薬と私たちに身近な毒物＞

穏やかな春も過ぎ、とうとう梅雨の季節ですね。みなさんどのようにお過ごしですか？

昨年に引き続き今年度も「おいしい時間」をよろしく  
お願い致します。今回のテーマは「農薬と身近な毒物」です。



### 《毒と薬は紙一重??》

第2号“毒物の危険”で述べた「毒」と「薬」の違いについて覚えていませんか。「毒」の中から人間に役立つように考え出したものが「薬」といえます。例えば農薬は様々な農作物を供給するために欠かせませんが、多量に残留してしまうと健康被害を引き起こしてしまいます。このように「毒」と「薬」は表裏一体なのです。

今年2月に中国製冷凍食品を食べた消費者が健康被害を受ける事件が発生しました。この冷凍食品からは有機リン系農薬である「メタミドホス」が、また別の冷凍食品からは「ジクロルボス」が高濃度で検出されました。検出された濃度は基準値の1万倍ともいわれています。また一方では、ある緑茶から「グリホサート」が検出されるなど、混入事件も発生しており、国では食の安心・安全に向けて検査体制の強化を図っています。

### 《健康被害はなぜ起きた?》

なぜ、問題の冷凍食品が国内に流通したのでしょうか？

そもそも時間経過に伴い、農薬は分解されるので農薬取締法に従い使用すれば、基準値を超え高濃度に残留することはありません。日本ではポジティブリスト制度を導入し、全ての食品に基準値が設定されています。輸入食品は輸入時の検査において違反となった場合は国内に流通しません。

では今回はなぜ流通してしまったのか。それは加工食品であったことが大きな理由です。

たとえ農薬が残留していたとしても、洗浄・加熱などの加工処理によって分解され、加工食品中の残留の可能性は低くなることから、加工食品の検査はそれほど行われていませんでした。

国では今回の事件を受け、検疫所が行うモニタリング検査の回数増加、また残留農薬検査の範囲を加工食品にまで拡大するなどして食品の安全確保のために取り組んでいます。

### 『毒にまつわるコラム①』

☆身近な毒虫：ハチ☆

・スズメバチ・アシナガバチ・ミツバチなど、私たちに身近な毒虫にハチがいます。日本では、毎年数十人の人がハチに刺されて死亡しており、なかでもスズメバチは大型で毒の量も多く毒性も強く、刺されると局所に激痛があり、赤く腫れ上がります。ショックなど重症の場合はただちに病院に運んでの処置が必要です。

☆アナフィラキシーショックとは？☆

一度ハチに刺されると、ハチ毒という抗原から体を守るために、IgE という抗体が作られます。再度刺されると肥満細胞表面でIgEと結合し、ヒスタミンなどが体内に放出されます。この物質が体の各臓器に作用して、くしゃみやじんま疹などのアレルギーを引き起こします。この反応のうち、呼吸困難や血圧低下などの全身的な反応をアナフィラキシーと呼び、生死に関わる重篤な症状を伴うものをアナフィラキシーショックといいます。

### 輸入食品の検査はどうなってるの？

それでは輸入食品の検査はどうなっているのでしょうか。簡単に説明しましょう。輸出国から貨物が到着すると保税区域と呼ばれる場所に荷揚げされます。そこで食品衛生法に基づき検疫所に届出を出します。そこで検査が必要と判断されれば、私共のような登録検査機関で検査を行います。その検査に合格すれば国内に流通します。もし不合格なら積戻しや廃棄処分となり流通することはありません。また、検疫所は残留農薬検査の回数を増やすなど検査体制を強化して、輸入食品の安全に向けて取り組んでいます。

### 『毒にまつわるコラム②』

☆硫化水素の危険性!!☆

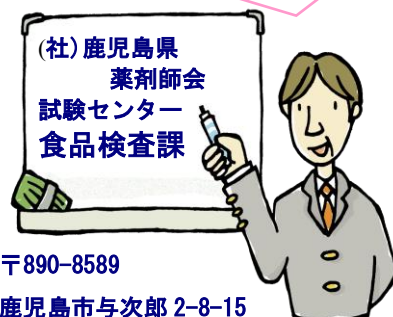
ある種の洗剤などを混ぜて硫化水素を発生させて自殺する方法が、インターネットなどで広まったためか、硫化水素を使った自殺が急増し、大きな社会問題となっています。硫化水素は、卵が腐ったような独特の臭気を持っているガスで、火山地帯などで自然に多く発生しています。しかし、毒性は強く、青酸とほぼ同等で、高濃度の場合は数回呼吸しただけで昏睡し、そして死に至るといわれており大変に危険です。

### 《禁煙のための救世主!?!》

2007年5月の調査で全国の喫煙者率は26%と発表されました。年々減少していますが、女性の割合は逆に伸びているようです。公共の場では禁煙になっている場所が増え、社会全体の流れは禁煙に向かっています。そこで禁煙の手助けとなるべく新しい薬が開発されているそうです。この薬は脳の神経細胞にあるニコチン受容体と結合しニコチンを遮断します。同時に満足感を与えるドーパミンを少量放出し、たばこへの切望感や不安、不眠を減らすというものです。日本は禁煙治療がまだ少なく今後が

★当センターでは、残留農薬検査を行っております。また、今後も新たに立ち上げを行い、検査項目の拡張を試みています。

お客様の力添えになるよう努力いたしますので宜しくお願い致します。



〒890-8589

鹿児島市与次郎 2-8-15

TEL : 099-253-8935

FAX : 099-255-2850

H20. 5. 30